

令和3年度事業計画

公益財団法人 入善町農業公社

1. 基本方針

近年の農業を取り巻く環境は、産地間競争や輸入規制緩和等により農産物価格は低迷し、さらなる生産効率の向上と生産コストの削減が求められています。

本町農業の主力である水稲は消費の減少から、一層の生産縮減と転作強化が求められ、生産農家、現場に戸惑いや不安、混乱をもたらしています。

また、本町でも農業従事者の高齢化や後継者不足の中、世代交代が進み、未相続や営農上の諸問題の増加などから、経営規模の縮小やリタイアする農業者の増加とそれに伴う担い手農家への依存度合いが年々高くなっています。

入善町公社では国や県内外の動向を見守りつつ、今後の情勢変化に柔軟かつ的確に対応できる農業体系を推進し、持続可能な地域農業に資するよう努めて行く必要があると考えられます。

このため、効率的で安定的な経営を支援する事業を始め、担い手の育成や地産地消の推進等、各種の支援事業を以下の通り実施してまいります。

2. 事業の内容

(1) 効率的で安定的な経営を支援する事業

●農地利用集積円滑化対策事業

農地利用集積事業の推進により、担い手や営農組織への農地集積と有効利用を図り、効率的で生産性の高い集約した農業経営を推進します。

また、個人同士で行っている相対契約期間の終了する賃貸借契約は公社を通し、農地中間管理機構への移行を基本として積極的に推進し、農地の保全と農地利用集積・集約に結びつけていきます。

<実施事項>

- ・農地中間管理機構との新規契約の推進と賃貸借料の清算事務の実施
- ・利用権設定農地の終期・更新の案内及び更新手続きの実施
- ・利用権契約期間の延長等(10年～15年に)
- ・営農組織や担い手への農地集積の取組及び受託地の交換の推進

(2) 経営改善支援及び担い手確保総合対策事業

●新規担い手確保事業

JAと協力し、農業に興味を持つ者の掘り起しと新規就農や研修会への参加などへの相談、情報提供を行います。

また、入善高校農業科と連携し、農家や農業法人への農業体験研修や農業機械研修会を開催し、農業に興味を持つ者の発掘と人材育成に努めてまいります。

<実施事項>

- ・ 自営農業や法人就業に向けた新規就農・経営相談の実施
- ・ 求人情報や就業体験・研修など就農に関する情報提供
- ・ 農業体験研修、刈り払い機安全使用研修、農業機械点検研修の実施と意欲ある担い手の育成
- ・ 生産組織や担い手を中心に学校給食への野菜供給、ふるさと製品の販売強化を目的とした栽培の推進(複合経営の推進)

(3) 新鮮で安全な農産物供給支援事業

●ふるさと産品メール事業

入善産米(つぶぞろい)を主体に、地場産品や農産加工品等を引き続き、県内外向けに発送し顧客の拡大を図ります。

JA と協力し地場農産物の供給品目と供給時期の拡大や農家の所得安定に努めてまいります。

<実施事項>

- ・ ふるさと産品の PR 活動、インターネットサイトでの販促
- ・ 顧客ニーズに合わせた特産品の組み合わせの推進
- ・ 農産加工品の開発・高付加価値化支援と販路拡大の推進
- ・ 農産物の安定供給を行うための組織体制確立、栽培指導強化(JA と連携)

●学校給食食材供給事業

栽培技術が統一された地場産農産物及び加工品を学校給食の食材として安定的に供給するため、生産団体や生産者、JA の協力を得て、生産者の顔が見える「新鮮で安全な地場産農産物」を学校給食関係者と連絡しながら推進してまいります。

<実施事項>

- ・ 生産者の顔が見える新鮮で安全な地場産野菜の通年供給
- ・ 地場産野菜の栽培面積・品目・加工品の拡大と新規栽培者の確保
- ・ 子供達への学習支援と合わせて、供給食材に関する研修会の開催

◎学校給食取扱品(見込)

玉葱、人参、胡瓜、トマト、じゃがいも、ネギ、キャベツ、さつまいも、
里芋、小松菜、カリフラワー、カブ、大根、ハウス白葱、ヤーコン、
冬瓜、生姜、ニンニク、大豆、黒米、えごま、プチヴェール、青島漬け、
さわやか漬け、仕込味噌、えごま味噌、柿酢等
野菜・加工品目の拡大

(4) 都市農村交流活性化事業

●生産者と消費者とのふれあい交流事業

ふれあい農園等の取組により、農業への理解と消費者との交流を深め、
農産物の消費拡大と町の PR に努めてまいります。

<実施事項>

- ・さつまいも、枝豆の「ふれあい農園」の実施
- ・各種イベントの参加による地場産の PR と販路の拡大